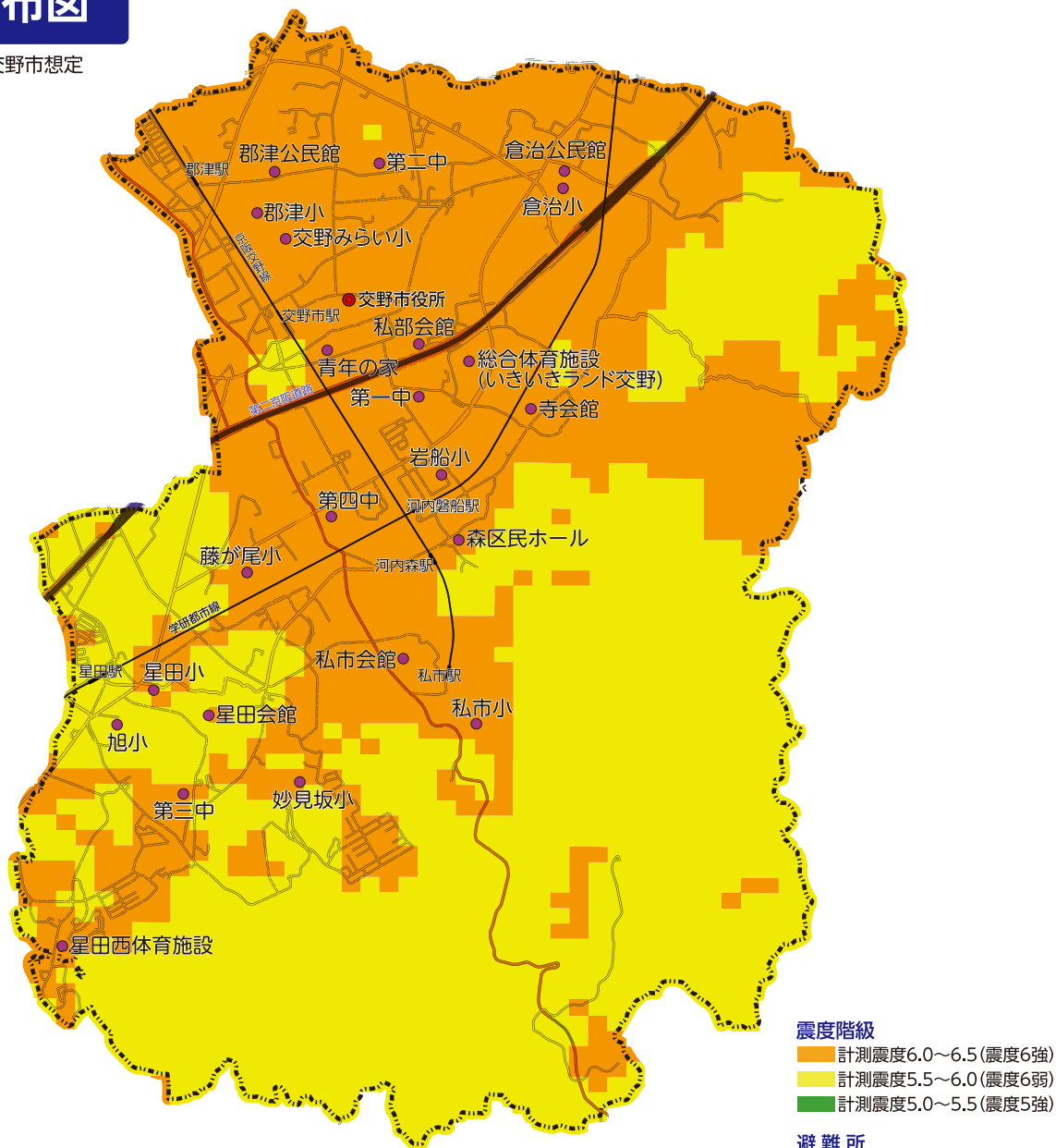




# 生駒断層帯地震

## 震度分布図

平成18年度 交野市想定



## 被害想定

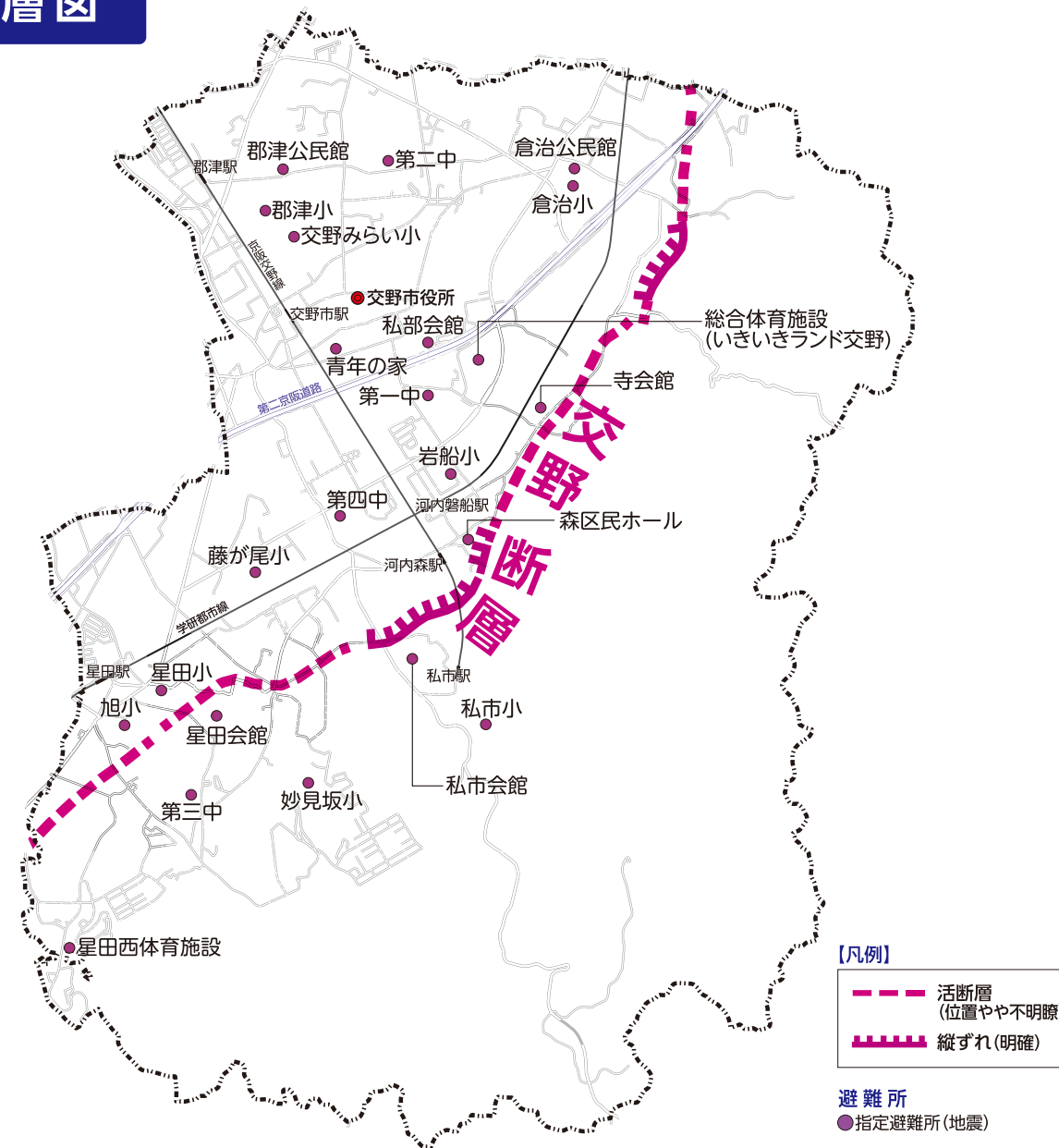
全壊	3,133棟
半壊	3,792棟
死者	28人(43人)
負傷者	818人(1,253人)
避難所生活者数	6,391人

※冬の夕刻(午後6時)を想定。( )内の数字は、朝5時の場合。

## ライフライン

停電	14,761軒
ガス供給停止	20,000戸
水道断水	40,000人
固定電話被災	13,649回線

## 活断層図



【中田高・岡田篤正・鈴木康弘・渡辺満久・池田安隆(2009): 1:25,000 都市圏活断層図「大阪東北部第2版」,国土地理院】をもとに株式会社ゼンリン作成

活断層とは、これまでに繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層のことです。一定の間隔で繰り返すように活動し、地表の浅い所で「内陸型地震」と呼ばれる地震を起こします。

しかし、活断層線の上が危険で、線の上でなければ大丈夫かと言えばそうではありません。活断層による内陸型地震が発生した場合、被害が及ぶ範囲は活断層線の上だけではなく、活断層が動くことで生じる地表のずれによる直接的な被害のほか、地震動による被害が広範囲に生じることがあるからです。

●記載の活断層について、活動の痕跡が浸食や人工的な要因等によって変更されているために、その位置が厳密には特定できなかったもので、線の位置に活断層があるとは限りません。

